

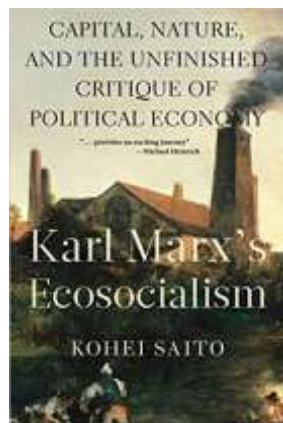
日本人初&最年少[★]

齋藤准教授の著書がドイッチャー賞を受賞しました

大阪市立大学大学院経済学研究科の齋藤幸平准教授の著した『Karl Marx's Ecosocialism Capital, Nature, and the Unfinished Critique of Political Economy』が、2018年度ドイッチャー賞 (Deutscher Memorial Prize) を受賞しました。

昨年は、カール・マルクスの生誕200年という記念の年であったほか、齋藤准教授の著書が出版された2017年は『資本論』が刊行されて150年という節目でもあり、受賞者が注目されていました。齋藤准教授の受賞は、日本人として初めて、また歴代最年少(31歳)での快挙です。

2019年11月には、ロンドンで開催される学会「Historical Materialism」にて記念講演を行うことになっています。



◆ドイッチャー賞について

ポーランド人のマルクス主義歴史家アイザック・ドイッチャー (Isaac Deutscher, 1907-67) とそのパートナーであるタマラ (Tamara Deutscher, 1913-1990) を記念し、1969年以来、毎年英語で刊行された「マルクス主義の伝統における最良かつ最もイノベーティブな新刊を代表するもの」に対して授与される賞です。過去の受賞作には、エリック・ホブズボーム『20世紀の歴史 両極端の時代』、マイク・デイヴィス『要塞都市LA』、デヴィッド・ハーヴェイ『資本の「謎」』などがあり、世界中のマルクス主義者が目標とする賞です。

Deutscher Memorial Prize <http://www.deutscherprize.org.uk/wp/>

◆受賞作について

『Karl Marx's Ecosocialism

Capital, Nature, and the Unfinished Critique of Political Economy』

(邦題『大洪水の前に マルクスと惑星の物質代謝』)

資本主義のもとで人類の経済活動により自然との共生バランスが崩れていくことを示唆したマルクスの環境思想について書かれており、マルクスの思想が、新自由主義の台頭による経済格差の拡大が問題となり、持続可能な開発が求められる21世紀の社会にも通じることを示したものです。英語版のほか、2016年10月にドイツ語版が発行されており、2019年3月には日本語版『大洪水の前に マルクスと惑星の物質代謝』が出版されます。

【本件に関するお問合せ先】

経済学研究科 担当：齋藤 幸平

TEL : 06-6605-2275

E-mail : saito@econ.osaka-cu.ac.jp

【取材に関するお問合せ先】

法人運営本部広報室 担当：松田

TEL : 06-6605-3411

E-mail : t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp